



# ながおかし議会だより

228号  
2023.9.1

編集・発行/長岡市議会

ホームページで議会の録画中継を配信中→<https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shigikai/>

## 市議会の新体制がスタート

5月臨時会において、議長・副議長選挙が行われ、投票の結果、議長に加藤尚登議員が、副議長に山田省吾議員が当選しました。選挙にあたっては、開かれた議会運営を行うため、議会基本条例に基づき所信表明会を実施しました。議長と副議長より皆様にごあいさつ申し上げます。

このたび、議長選挙において、皆様のご支援により第59代長岡市議会議長に当選いたしました。加藤尚登です。これまでの歴史と伝統を踏まえながら、合併前には11議会199人の議員が果たしてきた職責を、現在私たちは34人で担わなければならないという事実を鑑み、不断の自己革新が求められているとの認識の上で、議員間の熟議を重ねてまいりる所存です。

地方自治の本旨は「住民自治」と「団体自治」の両輪で構成され、私たち議員はまさにその二つを結ぶ車軸といえます。

ウイルス禍が収束に向かう中で、経済の回復や物価高騰対策、教育や子育て環境の整備など、議論すべき課題は山積しております。中核市移行に関する検討など大胆な政策提言、社会環境の変化に即した条例の制定、機動的な特別委員会の設置など、市民の福祉の向上に資するための議会改革に取り組んでまいります。

今回の改選で加わった女性4人を含む9人の新人議員をはじめ、経験豊富な議員33人全員のご協力をいただきながら、議会の底力を高めてまいります。

皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のごあいさつとさせていただきます。



議長

加藤尚登

このたび、副議長選挙において、議員各位より多数のご支持をいただき、第58代長岡市議会副議長に当選いたしました山田省吾です。副議長という重責を継続して担うことになり、一層職責の重みを痛感し、身の引き締まる思いであります。

市議会は、行政に対する監視機能および立法機能を十分に発揮し、市民生活にとって最良の意思決定を行うため、これまで以上に公正・公平かつ透明な議会運営を推進し、広く情報の提供と共有化を図らなければなりません。ご推挙していただいたからには、加藤尚登議長のもと、議員各位のお力添えをいただきながら新型コロナウイルス感染症の落ち着き始めた今、停滞していた経済を行政と一体となり活性化していくために尽力してまいります。併せて、人口減少問題、高齢化社会を迎えて、市民生活の安心・安全のために市議会としても両者を重要課題と捉え、積極的に取り組むべきと考えます。

これからも歴史と伝統のある長岡市議会の円滑な議会運営とさらなる活性化に向けて、皆様方のご指導とご協力のもと、全力で職責を全うする所存です。

以上のことをお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。



副議長

山田省吾

## 6月定例会で審議しました

6月定例会は6月20日から7月3日までの14日間の会期で行われました。令和5年度一般会計や特別会計の補正予算など市長提出議案等30件を審議しました。

議案等の審議結果は、5ページの「会派別議案等賛否一覧表」をご覧ください。

### 補正予算を可決

■子育て世帯家計支援事業費	4億120万6千円
■ながおか・若者・しごと機構支援事業費	3017万1千円
■デジタル地域通貨導入支援事業費	7500万円
■市内循環消費促進事業費	7250万円
■中小企業金融対策費	1600万円
■私立認可保育所等運営費	7682万4千円
ほか	ほか



提案理由の説明を行う磯田市長

## 議員表彰 (在職20年)

全国市議会議長会および北信越市議会議長会から、永年にわたり市政発展に尽くした功績が認められ、3人の議員が表彰されました。



水科 三郎 議員 丸山 勝総 議員  
※ほかに、長谷川 一作前議員が表彰されました。

<目次>

補正予算の概要、議員表彰	1
一般質問	2
特別委員会委員の選任、政務活動費収支報告	4
常任委員会の所管に関する質問、会派別議案等賛否一覧表	5
市議会の活動状況	6



大竹 雅春 (市民クラブ)

柏崎刈羽原発について

柏崎刈羽原発に係る安全対策や防災対策に関する国・県、東電の対応について市の現状認識を伺う。

東電は、原子力規制委員会に基づき是正措置命令を受け、柏崎刈羽原発については核物質防護に係る追加検査が実施され、現在も命令・検査ともに継続中である。内閣府主催の柏崎刈羽地域原子力防災協議会作業部会では、原子力災害時の対応について検討が行われており、県では福島第一原発事故に関する三つの検証の総括に向けた手続きが進められている。

市としては、今後も市町村研究会等を通じて、国や事業者等に対し、解決策を示すよう求めていくとともに協力していきたい。

原発政策に関する市の基本方針と市民が持つ懸念事項について市の考えを伺う。

柏崎刈羽原発には、大量の使用済み核燃料が保管されている。再稼働しない場合でも、災害やテロ等があれば、取り返しのつかない事態になる可能性がある。再稼働の議論とは別に、必要な安全対策については、国がもつと前に出て早急に方針を示すことと責任を持って対応することを求めていく。

早急に対応すべき対策、あるいは論点とすべき項目には、発電事業者の適格性、豪雪時の避難の実効性、原子炉の集中立地によるリスク、安全上の懸念への対応が明らかになっていないこと等が挙げられる。今後、市町村研究会において課題の洗い出しと論点整理を行い、その対応を国や東電に強く求めていく。



藤井 達徳 (長岡市公明党)

マンションの適正管理に向けた本市の取組について

マンションの管理不全により周辺地域の住環境に影響を及ぼさないためにも、マンション管理適正化推進計画を策定し、併せて適切な管理制度を有するマンションを市が認定する仕組みを導入すべきと考えるが、市の認識と今後の取組について伺う。

マンション管理適正化法では、管理組合は適切にマンションの維持管理をすること、地方公共団体は適正に施策を講じることが定められている。また、マンション管理計画認定制度の運用により、適正な管理の促進、長寿命化や価値の向上につながる

考えている。本市においても、マンション管理適正化推進計画を策定し、施策を進めていく必要があると認識しているため、令和5年度は実態調査を行い、令和6年度の計画策定後、速やかに認定制度を導入したいと考えている。

熱中症対策の推進について

熱中症対策および温室効果ガスの排出削減対策として、エアコンの効いた公共施設等を誰かが気軽に立ち寄れるクールスポットとして開設すべきと考えるが、本市の認識と今後の対応について伺う。

熱中症対策としてすぐに取り組めるクールスポットは非常に有効であると考えている。コミュニティセンターや図書館、行政庁舎等、エアコンが設置された涼しい場所を積極的にクールスポットとして活用し、市民に周知していきたい。また、ミライエ長岡内には互尊文庫があるため、読書と兼ねて涼みに来てもらいたいと考えている。



笠井 則雄 (共産党市議団)

柏崎刈羽原発の再稼働問題について

東電社員が内部資料を許さず持ち出し、紛失した問題等に対する市の見解を伺う。

事案発生後、早々に東電に対し市町村研究会等を通じて原因究明と再発防止策の説明を要請した。不適切な説明を繰り返す東電の現状を真剣に受け止め、国が前面に立ってしっかりと責任を持つ、新たな発電の体制づくりを進めることを求めていきたい。

課税世帯等にも給付金支給等が必要と考えるが、市独自の物価対策について伺う。また、市内事業者への電気料金高騰対策について伺う。

市独自の物価高騰対策として、すべての子育て世帯に対し、所得制限を設けずに18歳以下の子ども一人当たり1万円を9月から順次支給し、私立保育園や介護保険施設等には、今年度も光熱費等の支援を予定している。また、市内事業者には、借り換え等に係る信用保証料相当分を支給する長岡市制度融資活用事業継続サポート補助金のほか、ポッキリパスポート・プレミアム配布やながおかペイへのポイント付与等を行う予定である。今後も市民生活や事業者への影響を的確に把握し、国・県の動向も注視しながら必要な対策を機動的に実施していきたい。

電気料金の値上げに対しては、現時点では国・県の今後の対応が不透明なため、引き続き情報収集していく。

長岡市カーボンニュートラルチャレンジ戦略2050について  
DV防止対策について  
一般住宅リフォーム支援事業について



五十嵐 良一 (長岡令和クラブ)

柏崎刈羽原発の再稼働問題について

これまでの東電の対応を踏まえ、原発の再稼働に対する本市の基本姿勢を伺う。

原発再稼働問題の議論の前提として、原発の立地自治体のリスク回避に必要な安全対策について、国が方針を示すべきと考える。一例として、東電に対して国が責任を持つ体制の構築、豪雪時の避難対策としてのインフラ整備、原発の集中立地によるリスク回避のための方針の提示、リスクと負担だけを負わされる今の仕組みは市民に受け入れられないこと、4点がある。

安が解消されない限り再稼働はすべきではないという基本姿勢を堅持していく。

危機管理における諸課題について

令和4年度改定の長岡市防災計画では、新たな防災体制の整備に関する提言において、災害発生時には即座に実行に移せる体制づくりが必要と記載があるが、本計画の実効性について伺う。

長岡市地域防災計画は、とめた基本計画であり、具体的な対応は、災害別に自動体制や本部設置基準等をまとめたマニュアルに基づいて行っている。水害を例に挙げると、信濃川早期警戒情報の発表時には、浸水しない地域への車での避難等を長岡方式の避難行動として呼びかけ、市政日より6月号で周知を図った。

今後市町村研究会において論点を整理を行い、必要な対応を国に強く要請するとともに、市民の不安が解消されない限り再稼働はすべきではないという基本姿勢を堅持していく。



池田 明弘 (長岡市公明党)

オンライン診療の推進について

今後の医師不足に対応し、高齢者や移動困難者の受診機会を確保するために移動オンライン診療を導入し、オンライン診療を地域全体へ普及させていくべきと考えるが、市の見解を伺う。

オンライン診療車については、今年度国の交付金を活用して車両等の整備を行い、その効果を検証する。試行的に山古志地域で活用し、今後の効果や課題を踏まえて診療の在り方を検討していく。

オンライン診療については、対面診療を補完する役割を担うものと認識している。そのため、デジタル技術を取り入れ、患者と医師双方の移動負担を軽減することに



豊田 朗 (市民クラブ)

長岡市における防災DXの取組について

自然災害への対応が困難になると考えるが、本市の災害対応に係る人員配置の現状および今後の課題について市の考えを伺う。

避難施設の開設と運営に従事する職員の配置については、その近隣に居住する職員等を優先的に配置し、職員が少ない地域では配置する職員の組み合わせを工夫することで対応に影響のない体制を維持している。支所地域については、警戒体制の段階から地域事務所の職員が支所に出向いて対応に当たり、必要な場合は本庁職員も対応する体制を構築し、

自然災害の激甚化や頻発は重要と認識している。そのため、防災業務の効率化等実効性のある対策を行いたいと考えている。現在、避難所の開設状況や混雑状況をホームページで確認できるシステムの導入等、民間事業者等の技術やノウハウを活用した取り組みを進めている。そのほか、複数の河川の水位等の状況を遠隔地からリアルタイムで把握できる河川カメラの増設を検討している。

よる持続可能な医療提供体制を構築する必要があると考えている。引き続き山古志地域でのオンライン診療を継続する中で、有効性や課題を関係機関と共有し、普及促進についての方策を検討していく。

奨学金返還支援は学生の進学支援に加え、本市のイメージアップや地元企業の人材確保の後押しにもつながるため、本市独自の支援制度の導入を検討すべきと考えるが、市の見解を伺う。

奨学金返還支援については、国が本制度の導入を推進していることから、若者の地域定着を促進する手段の一つと認識している。本制度をすでに導入している自治体においても、目的や補助対象者、またその要件や助成額等がさまざまであるため、企業の意向を確認するとともに、効果や他市の事例等、制度の研究を進めていく。

全庁を挙げて迅速な災害対応に取り組んでいく。こうした中で、避難施設の速やかな開設と運営、またそれにかにデジタル技術を導入し、対応の強化につなげていくかが今後の課題と認識している。



服部 耕一 (共産党市議員)

### 5類移行に伴う 新型コロナウイルス対策について

**問** 新たな県の方針では、高齢者施設等は健康観察や医療的な処置について、対応可能な範囲で施設内療養を行うとしているが、県が実施した5類移行に向けたアンケートでは、22・8%の施設が施設内療養を不可と回答した。このことから、原則施設内療養とするのは困難であると考えるが、市の認識を伺う。

**答** 県の方針は、限られた医療資源を有効活用するため、対応可能な範囲で施設内療養を行うことを求めるものと認識している。市では、施設内療養の実態把握に努めるとともに、感染症への

警戒と対応を継続していく。今後、感染が拡大した場合は医師会や市内の基幹3病院と連携し、県に対して迅速に要望を提出する等の対応をしていきたいと考えている。

### 学校給食費無償化について

**問** 小・中学校、特別支援学校の給食費完全無償化の実施と、完全無償化が困難な場合における第二子以降に対する部分的な実施について、市の考えを伺う。

**答** 学校給食の完全無償化や部分的な無償化の実施については、憲法第26条に規定する義務教育無償のほか、義務教育の機会均等の原則や公平性の観点から、国が検討し、全国一律に行うべきと考える。また、令和5年6月に国が公表したことも未来戦略方針の中で、学校給食無償化に向けた課題整理を行う旨が盛り込まれたため、国の検討状況を注視し、後押しできる場合は、必要に応じて国・県への要望を検討していく。



衣川 広志 (無所属)

### 市民の負担を軽減する 政策について

**問** 市民の負担を軽減するため、減税政策の導入が必要と考えるが市の見解を伺う。

**答** 市の政策を効果的に進めるため、一定の条件で税金を免除する取り組みは現在も行っており、今後も必要に応じて実施していきたいと考えている。一方で、現金給付に代えて市独自に一律的な減税を行うことは、対象者の相違等の課題があるため困難であり、各種事業に要する費用等に係る自主財源を失うことにもつながると考える。引き続き公正・公平かつ効率的な行政運営に努めつつ、安定的な財政運営を行うことで、市民からの理解を得たいと考えている。

能率的で透明性の高い 行政運営について

### 市民への説明責任を果たす 成果を上げるため、事務事業評価シートの作成と公開が必要と考えるが、市の見解を伺う。

**答** 事務事業評価は、適切な事業の選択や効率的で効果的な行政運営を目的に、各事業における目的の達成度や費用の適切さについての点検評価等を自治体ごとの裁量と手法で実施しているものである。本市では、事務事業の成果や進捗の評価等を精査し、次年度の事業方針や予算要求に反映させるなど、事務事業の効率的かつ適正な執行に努めている。また、予算の使途の詳細や成果については、主要事業ごとに決算資料を公開し、決算審査特別委員会でも説明している。



松野 憲一郎 (長岡令和クラブ)

### 選ばれる長岡の 人づくりについて

**問** ミライエ長岡を中心とした学生の起業・創業支援の今後の展開について伺う。

**答** 第1期総合戦略では、ながおか・若者・しごと機構を立ち上げ、若者のアイデア実現や若者同士の交流促進等、学生が活躍できる環境を整えてきた。その後NadeC BASEを開設し、4大学1高専と連携して学生の起業支援や市内企業との交流事業を行っている。

じめとした若者が集い、多様な人材と交流することによって新たな発想や連携が生まれ、長岡の未来を創造する人づくりの場となるよう取り組んでいく。

### 異常気象等の対応について

**問** 管理不全による倒木が市重要と考えるが、本市の考えを伺う。

**答** 市内の森林面積の約90%は民有林が占めており、所有者による適切な管理が必要となる。市では、国の森林経営管理制度に基づき、森林の現状把握や森林整備計画の作成、林業事業者への支援等を行い、県森林組合等と連携しながら森林整備を推進している。



金子 陽奈子 (市民クラブ)

### 投票率向上に向けた 取組について

**問** 若者の投票率向上のため、出前授業での模擬選挙体験に加えて、選挙が市民の意見を市政に届ける人を決める重要なものであると伝えることも必要と考えるが、市の認識を伺う。

**答** 選挙出前講座では、選挙制度の仕組みの説明や実際の選挙に用いる投票箱等を使用した模擬選挙を行うことで投票への意識の向上を図っているが、実際の投票行動に結びつくところまでいかに意識を変えられるかが課題である。現在は、税務署の租税教室と合同で、税金と選挙を関連付けて伝える取り組みを行っている。

また、子どもたちの意識を変えるには政治や選挙の意義の伝え方が重要と考えるため、高校での主権者教育とも連携し、効果的な伝え方を引き続き研究していく。

### 高校や専門学校等、各学 校単位での移動期日前投票 所の設置や、高齢者向けの移動投票所の設置が有効と考えるが、本市の考えを伺う。また、マイナンバーカード等、DXを活用した投票方法の研究も必要と考えるが、本市の考えを伺う。

**答** 移動期日前投票所は、投票場所や投票時間を柔軟に設定でき、きめ細かな対応が可能である。一方で、多数の投票者への同時対応が困難であることや人員確保、経費等の課題があるため今後検討を進めていく。



笠井 綾華 (無所属)

### 長岡市議会議員選挙について

**問** 選挙出前授業の申込数を増やすため、教育委員会と連携し、各学校への案内に子どもたちの感想を掲載するなど、学校側の意欲を高める啓発方法があるかと考えるが、今後の取り組みについて伺う。

**答** 選挙出前講座では、選挙制度の仕組みの説明や、実際の選挙で使う投票箱等を使用した模擬選挙を行い、意識の向上を図っている。今後は教育委員会と連携し、長岡教育情報プラットフォーム「こめぷら」を活用するなど、学校への周知方法を工夫することでより多くの学校から申し込みでもらえるよう努めたいと考えている。

子どもたちの マスク着用について

### 他の自治体の取り組み事例を参考に、保護者を含めた市民にも広くマスクを外すことを働きかけることが必要と考えるが、今後の本市の対応について伺う。

**答** 教育委員会では、学校への通知や保護者へのメッセージとして、学校の教育活動におけるマスク着用は不要であることを積極的に発信してきた。また、子どもたちに対して、マスクの着用によるマイナスマスを強調するだけでなく、お互いの表情が見える状態に関わり合うことの楽しさを実感してもらうことで、安心してマスクを外せることが大切だと考えている。



関 貴志 (無所属)

### 柏崎刈羽原発の 再稼働問題について

**問** 本市が原発の再稼働に対する事前了解権を求めない理由として、令和5年3月定例会において立地自治体の理解や30キロ圏内(UPZ)内の周辺自治体との共通認識がとまるとの状況にならなければ本市が事前了解権を持つことは難しいとの答弁があった。立地自治体は本市またはUPZ内の周辺自治体に事前了解権が拡大することに理解を示していないというところを伺う。

**答** 新潟県と本市の間では、立地自治体以外の意向を取りまとめ、意思表示を行うことが共通認識

識になっているが、事前了解権の拡大に対する県の見解は確認していない。県以外の立地自治体についても確認しておらず、承知していない。

### UPZ内の自治体において 原発に対して長岡市長ほど踏み込んだ公約をした首長はいないこと、市長が率先してUPZ内の自治体をまとめなければならぬと考えるが、本市の取り組みについて伺う。

**答** UPZ内の各自治体とは、市町村研究会の場を通じて意見交換をしている。研究会としては、県に対し、UPZ内の自治体を含めた立地自治体以外の自治体の意向の取りまとめ方法を早期に示すことを要望しているところであり、今後も各市町村と連携して粘り強く要望していく。加えて、県が今後示す自治体の意向を取りまとめの仕組みの中で本市の意思をしっかりと伝え、知事の判断に反映されるよう努めていく。

# 大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会を設置

(定数8人 現員8人)  
◎委員長 ○副委員長

6月定例会最終日に、大河津分水および長岡東西道路の整備推進に関する調査を行うため、特別委員会を設置し、委員の選任を行いました。

- ◎五井 文雄 ○藤井 達徳 笠井 綾華 豊田 朗  
池田 和幸 山田 省吾 松井 一男 笠井 則雄

## 政務活動費収支報告

令和4年4月～令和5年3月

(単位：円)

会派名	市民クラブ (16人)	長岡令和クラブ (5人)	長岡市公明党 (3人)	民成クラブ (2人)	共産党市議団 (2人)	無所属 (諏佐 武史)	無所属 (桑原 望)	無所属 (水科 三郎)	無所属 (関 貴志)	無所属 (松井議長)	合計
収入の部											
政務活動費①	11,520,000	3,600,000	2,160,000	1,440,000	1,440,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	23,760,000
雑入②	35	11	8	2	1	0	1	2	3	2	65
合計③	11,520,035	3,600,011	2,160,008	1,440,002	1,440,001	720,000	720,001	720,002	720,003	720,002	23,760,065
支出の部											
調査研修(研究)費	5,444,609	1,693,321	915,737	357,393	113,740	139,855	129,268	250,176	124,688	350,312	9,519,099
広報広聴費	2,154,415	1,336,061	266,795	391,904	1,071,158	485,049	200,200	0	473,797	122,993	6,502,372
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資料費	973,630	250,787	156,654	202,309	134,432	53,202	119,834	195,872	76,650	122,643	2,286,013
情報通信費	1,264,614	115,020	391,113	331,226	46,008	23,004	82,618	86,503	38,843	70,700	2,449,649
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	29,000	0	0	0	29,000
事務費	1,190,357	43,809	318,775	157,170	73,993	18,890	17,491	59,550	6,025	40,793	1,926,853
合計④	11,027,625	3,438,998	2,049,074	1,440,002	1,439,331	720,000	578,411	592,101	720,003	707,441	22,712,986
収支差引残額③-④	492,410	161,013	110,934	0	670	0	141,590	127,901	0	12,561	1,047,079



Q「政務活動費」とは？

A 議員の調査研究活動の充実を図るために、必要な経費の一部を補助するものです。長岡市では、議員1人当たり月額6万円を会派に交付しています(会派に属していない議員は、所属議員が1人の会派を結成しているものとみなして交付しています)。

Q 政務活動費の使い道は？



A 主に以下の項目で使われています。

- 調査研修(研究)費  
研修参加料、交通費、旅費など
- 広報広聴費  
広報紙・報告書の印刷費など
- 資料費  
図書購入費など
- 情報通信費  
電話料、インターネット関連経費など
- 事務費  
事務用消耗品購入費、事務機器購入・リース代など

領収書等の証拠書類の写しは、アオーレ長岡(東棟)3階の庶務課情報公開コーナーおよび市議会ホームページでご覧いただけます。

令和5年4月

(単位：円)

会派名	市民クラブ (14人)	長岡令和クラブ (5人)	長岡市公明党 (3人)	民成クラブ (2人)	共産党市議団 (2人)	無所属 (桑原 望)	無所属 (水科 三郎)	無所属 (関 貴志)	無所属 (松井議長)	合計
収入の部										
政務活動費①	840,000	300,000	180,000	120,000	120,000	60,000	60,000	60,000	60,000	1,800,000
雑入②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計③	840,000	300,000	180,000	120,000	120,000	60,000	60,000	60,000	60,000	1,800,000
支出の部										
調査研修(研究)費	175,981	14,440	29,383	22,487	0	0	0	5,458	387	248,136
広報広聴費	196,146	56,210	0	55,527	116,274	0	0	0	0	424,157
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資料費	42,787	15,057	12,180	6,250	0	0	0	2,499	57,750	136,523
情報通信費	29,241	9,315	16,511	20,226	3,726	1,863	1,863	1,863	1,863	86,471
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務費	122,126	14,337	54,576	15,510	0	0	0	1,078	0	207,627
合計④	566,281	109,359	112,650	120,000	120,000	1,863	1,863	10,898	60,000	1,102,914
収支差引残額③-④	273,719	190,641	67,350	0	0	58,137	58,137	49,102	0	697,086

※収支差引残額については、市に返還されます。雑入の内訳は、全て預金利息です。  
※会派構成等については、それぞれ改選前の交付基準日(令和4年4月1日、令和5年4月1日)時点のものです。

## 9月定例会の日程

ぜひ傍聴にお越しください。

5	6	7	8	11	12	13	14	19	20	21	25
火	水	木	金	月	火	水	木	火	水	木	月
議会運営委員会	本会議(招集日)	本会議(※)	本会議(※)	建設委員会	産業市民委員会	文教福祉委員会	総務委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	本会議(最終日)

(※) 9月6日(水)～8日(金)の本会議は、一般質問者の人数により日程が短くなる場合があります。

### 本会議

- ・開会 午後1時
- ・傍聴受付 午後0時30分からアオーレ長岡西棟2階(傍聴受付)にて
- ・定員 65人、車いす席2人、親子傍聴席10人

### 議会運営委員会

- ・開会 午前11時30分
- ・傍聴受付 午前11時からアオーレ長岡西棟4階(議会事務局)にて
- ・定員 12人

### 常任委員会

- ・開会 午前10時
- ・傍聴受付 午前9時30分からアオーレ長岡西棟4階(議会事務局)にて
- ・定員 12人

## 6月定例会 常任委員会の所管事項に関する質問

○常任委員会○

長岡市議会では「総務」「文教福祉」「産業市民」「建設」の四つの常任委員会が設置されており、議員はいずれか一つに所属します。各常任委員会では、本会議の付託を受けてその部門に属する議案を審査するほか、委員会の所管事項に関する質問を市長や関係機関に対して行います。

ここでは、質問の一部を掲載しています。詳しい内容についてはホームページの会議録や録画中継をご覧ください。

### 総務委員会

- 主要事業計画書のホームページ等による公開の実施に対する市の見解
- チャットGPTの使用と評価
- 移住・定住の情報発信と取り組み
- 当日投票所での閉鎖時刻の一斉繰り上げの考え方
- 歴史関連施設の検討状況と方向性
- 女性活躍社会に向けた働きやすい職場づくり
- セルフエスティーム<sup>※2</sup>研修の実施状況と評価
- 会計年度任用職員の待遇改善

ほか

### 文教福祉委員会

- 不登校児童・生徒に対する相談・支援体制
- 児童・生徒を中心とした授業イノベーションの展開状況
- 乳幼児健診の受診率と受診会場の設定方法
- 児童クラブ運営の状況と小学校の余裕教室等の活用
- 養育費確保支援事業の要件緩和に対する市の認識
- 市民への行事・イベント情報等の周知の強化
- GIGAスクール構想に基づく情報端末の現状と今後の対応

ほか

### 産業市民委員会

- 観光産業による市内関連産業への経済的波及効果に対する市の認識
- 文化活動団体に対する助成制度
- 鳥獣被害対策実施隊の活動状況に対する市の認識と今後の活動における課題
- 香害に対する市の認識と市民からの相談状況
- 中山間地域農業の現状と今後の課題
- 防犯機能付き電話による特殊詐欺被害対策に対する市の認識
- 長岡駅周辺のカラス対策の取り組み状況

ほか

### 建設委員会

- 採算性の面におけるEVバスと従来バスの比較
- 除雪ボランティアに対する支援拡充
- 近年の降雪状況の変化に対する冬期通学路確保の状況
- 消雪施設に係る電気料金補助制度に対する市の認識
- 水道の漏水規模および損失額に対する市の認識
- フェニックス大橋東詰における道路整備の取り組み

ほか

※2 セルフエスティーム：自分自身を価値あるものとして尊重する感覚のこと

#### 副市長の選任に同意

7月3日の本会議最終日において、副市長に高見真二氏（再任）を選任することに同意しました。

#### 各種行政委員の選任・推薦に同意

同日、農業委員会委員24人（再任14人・新任10人）を選任することに同意しました。また、次の方を人権擁護委員に推薦することに同意しました。

佐々木信和 氏（再任）  
石原光代 氏（新任）  
雲居宣章 氏（新任）

#### 会派別議員名簿（7月3日現在）

市民クラブ	池田 和幸	大竹 雅春
	田中 茂樹	豊田 朗
	多田 光輝	波多 恵理
	ニツ家 和樹	大淵 正文
	金子陽奈子	丸山 広司
	関 正史	松井 一男
長岡令和クラブ	丸山 勝総	酒井 正春
	五井 文雄	
長岡令和クラブ	関 充夫	神林 克彦
	松野憲一郎	五十嵐良一
共産党市議団	山田 省吾	
	笠井 則雄	服部 耕一
共産党市議団	長坂 将志	
長岡市公明党	池田 明弘	中村 耕一
	藤井 達徳	
無所属	A 三澤 寛人	
	B 高橋 美里	
	C 衣川 広志	
	D 笠井 綾華	
	E 桑原 望	
	F 水科 三郎	
	G 関 貴志	
	H 加藤 尚登（議長）	

#### 会派別議案等賛否一覧表

○：会派全員が賛成 ×：会派全員が反対

#### 6月定例会

議案等	会派名 ( )は所属議員数	市民	長岡	共産	長岡	無	無	無	無	無	無	無	議決結果
		クラブ (15)	令和 クラブ (5)	産党 市議 団 (3)	岡市 公明 党 (3)	所 属 A	所 属 B	所 属 C	所 属 D	所 属 E	所 属 F	所 属 G	
市長提出議案等	補正予算	令和5年度一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		令和5年度国民健康保険寺泊診療所事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		令和5年度介護保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市長提出議案等	条例 一部改正	職員の給与に関する条例 ほか6件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		市の境界変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	その他	市道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		契約の締結（栃尾サブセンター機器更新工事） ほか8件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		財産の取得（高規格救急自動車 2台） ほか5件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
人 事	人 事	副市長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
		農業委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
		人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

#### 5月臨時会

議案等	会派名 ( )は所属議員数	市民	長岡	共産	長岡	無	無	無	無	無	無	議決結果
		クラブ (15)	令和 クラブ (5)	産党 市議 団 (3)	岡市 公明 党 (3)	所 属 A	所 属 B	所 属 C	所 属 D	所 属 E	所 属 F	
市長提出議案	専決処分	専決第3号 市税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
		専決第4号 都市計画税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
市長提出議案	条例 一部改正	専決第5号 令和5年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
		市税条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長提出議案	人 事	都市計画税条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
提出議案	委員会 条例 一部改正	議会委員会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

## 市議会の活動状況

5月		
5月臨時会 (3日間)	17日	本会議 (招集日)
		議会運営委員会
	18日	文教福祉委員会
		総務委員会
19日	議会運営委員会 本会議 (最終日)	
6月		
6月定例会 (14日間)	16日	議会運営委員会
	20日	議会運営委員会
		本会議 (招集日)
	21日	本会議
	22日	
	26日	建設委員会
	27日	産業市民委員会
	28日	文教福祉委員会
29日	総務委員会	
7月		
3日	議会運営委員会	
	文教福祉委員会	
	建設委員会	
	本会議 (最終日)	
8月		
4日	議会運営委員会	

## 8月1日 長岡市平和祈念式典に出席



式典であいさつする加藤議長

長岡市主催の「長岡市平和祈念式典」がアオーレ長岡のアリーナを会場に開催されました。

県内唯一の大規模戦災都市として戦没者を追悼し、平和の尊さを世界に発信するため、式典の始めに黙とうがささげられた後、加藤議長のあいさつや戦災殉難者遺族代表等による献花、長岡空襲体験者のお話、広島平和記念式典派遣中学生による平和の誓いなどが行われました。

## 8月10日 中越地区市議会合同議員研修会を開催

毎年、中越地区の市議会議員が一堂に会して合同研修会を行っています。

今年は長岡リリックホールを会場に、全国で頻発する大規模災害への備えをテーマに開催されました。中越市民防災安全士会会長の岸和義氏から「中越地震の教訓をかたちにする『地域の防災リーダー育成をめざして』」と題した講演があったほか、加藤議長が長岡市議会における大規模災害時の取り組みを紹介しました。



岸氏による講演の様子



## 監査委員を選任

5月臨時会において監査委員（議会選出）の選任議案に同意しました。

丸山 勝総 議員（令和5年5月17日就任）

## ホームページで議会情報を発信中！

長岡市議会

検索

こちらからも  
アクセスできます



<b>1</b> 議会トピックス	<b>2</b> 定例会	<b>3</b> 市議会だより
<b>4</b> 会議録検索	<b>5</b> 議会中継・録画	<b>6</b> 傍聴のご案内

長岡市議会では、次のとおりホームページで議会情報を発信しています。

- ①議長の主な活動や開催された会議等の様子
- ②議会の日程や一般質問、議案等の内容等
- ③過去の市議会だより
- ④過去の会議の会議録
- ⑤本会議・常任委員会・特別委員会の生中継・録画中継
- ⑥議会の傍聴方法

このほかにも最新情報を随時更新中！

### < 会議録 >



過去の会議の会議録をご覧ください。本会議や委員会ごとに、発言者や用語による検索ができます。ぜひアクセスしてみてください。

### < 議会中継・録画中継 >



▲議会中継トップ



▲録画中継

本会議・常任委員会・一部特別委員会は、ホームページで生中継・録画中継をご覧ください。

なお、本会議・常任委員会は、ケーブルテレビでもご覧いただけます。再放送は会議開催日当日の午後7時からです。また、YouTubeでも録画中継を公開しています。

